

地域経済研究所活動報告 —2008年度—

〈共同研究事業〉

1) 「地域活動としてのボランティアの可能性

—地域住民と学生ボランティア活動との連携・協働をめざして—

○研究目的：学生に対して、地域活動に関する情報、学生が地域で活動する場、活動する機会を提供することにより、大学と地域、学生と地域住民の相互関係を構築することを目的とする。

○研究期間：2008年4月1日～2009年1月31日

○研究者：研究代表者・樋下田 邦子 経済学部講師

共同研究者・中川 裕司 経営学部教授、高橋 正紀 経営学部教授、
佐藤 俊幸 経済学部教授、山田 武司 経済学部准教授

※この共同研究の一環として、「西濃地域ボランティア学習大会」を開催。

・開催日：2008年9月27日（土）・28日（日）

・参加者：150名（発表者、一般、大会運営スタッフ）

2) 「白川村の地域資源活用型観光特産品及びマネジメント手法の開発に関する共同研究」

○研究目的：世界遺産を有する白川村では、東海北陸自動車道の開通を機に、各地から多数の観光交流者が訪れることが予測されている。

しかし、地域経済の発展に不可欠な地域資源を活かした特産物は皆無の状態が続いている。地域内産業連関と地域性豊かで斬新なデザイン開発と市場開発を追求することを目的とする。

○研究期間：2008年5月7日～2009年2月27日

○研究者：研究代表者・鈴木 誠 経済学部教授

共同研究者・藤本 英子 氏（京都市立芸術大学准教授、ライフデザイン学）
三島 敏樹 氏（白川郷の自然環境を守る会代表、本学OB）

〈公開講演会〉

○実施日：2008年11月27日（木）

○テーマ：「住民一人ひとりが輝く『地域づくり』の経済学」

○場所：岐阜経済大学講堂（7号館）

○講師：岡田 知弘 氏（京都大学教授）